

株式会社エフエムなかそらち番組審議会 議事録

1. 開催年月日

平成 29 年 9 月 25 日（月）午後 7 時～8 時

2. 開催場所

滝川市まちづくりセンターみんくる B 会議室

3. 審議委員 委員数 7 名

【出席 6 名】

【欠席 1 名】

放送事業者側出席者 山口 清悦放送局長、庭野 朱美

4. 議題 番組審議『名護と滝川をシークワサーでつなぐ 10 万人胃袋プロジェクト』

（日曜日放送 午前 14：00～14：59）

5. 議事の概要

番組審議委員の該当番組に対する意見聴取

6. 審議(議事)の内容

- ・最初、何人で喋っているのかわからなかった。何分か経ってからやっと自己紹介がありわかったが、自己紹介は初めにあった方がわかり易い。番組自体の紹介はすごくわかり易かった。「今日の気温は・・・」といった時に急に BGM が下がったので BGM は入れておいて欲しいなと思った。最初は皆テンションが低く乾杯の後からだんだんとテンションが上がり始めた様だ。乾杯のくだりは、やってもいいと思うが最初に文言の説明があればいいと思った。やはり、気を付けた方がいいかなと。
- ・音が綺麗だと思った。BGM を途中で切ってもトークが面白く聞き入ってしまう。まったくとした喋り方の方言が沖縄のラジオらしくていい。北海道にはない雰囲気が出ていい。みやさんとジョバンニさんはプロ意識も高く息もぴったりでシークワサー一笑費隊の皆さんとまた違って楽しめた。呑んだらシークワサーを飲むというアイデアは、番組にも絡んでいて面白い。松尾さんのゼリーの機械購入の話聞き、滝川でも何かあれば良いなと思った。シークワサーの宣伝をたくさんして思わず買ってみようかなと思った。
- ・始まりがもさもさと入っていく印象。途中からは内輪話で盛り上がってきた。流れている歌は完成されていると思った。全体的に名護と滝川をつなぐというタイトルからもう少し滝川の事が入っていたらなと、感じた。
- ・まず、音がいい。シークワサー隊が話している時、男性一人の声が聞こえ辛かった。BGM が最初にあったがその後何もなくなって喋り一本になったが、インパクトがあった。それが沖縄なのかなと思った。乾杯のくだりは、これは意味を知らなかったらすごい事を言っているなと思う。乾杯の後に熱弁をしていたので前に説明をしたらいい

のでは。クレーンも仕方ないかなと。ただ、これが沖縄らしいのかなとも思うし、気にしていない感じが良い。プロの方がやっているのも全体的に聴きやすかった。

- 噛んだらシークワサーを飲む宣言は、どこで飲んでいるのか本当に飲んでいるのかが気になった。シーベルト松田さんの曲がいい所で切れているのもう少し掛けてもいいと思う。松尾製菓さんのクラウドファンディングの話が資金調達のファンドに聞こえてしまう。乾杯音頭の「ノビレチンチン」は、最初に説明がないと卑猥に思う人はいるのかなと思う。全体的に良い内容・雰囲気、滝川の天気の話も言っているし名護の話もわかる。BGMも沖縄らしいので小さくても掛かっていると、滝川の聞いている人達は沖縄を感じやすいかなと思う。
- 名護の番組だが滝川の話も気遣ってくれている感じがする。気温とか虫の話、植物の話など他にはない番組なので、友好的な印象を持った。シークワサーは決して北海道や滝川ではメジャーではないがラジオ番組でやることにより興味を持つ方がいたり、売っていたら買ってみようかなと次に繋がる様な投げかけがあり有効的。言葉や方言の解説を聞くと面白く意味が分かり、話のネタ的にいい。ノビレチンの説明も身体に良いもののイメージがあった。「胃袋プロジェクト」なので、毎回の説明はあった方がいい。そうすると、リスナーもびっくりしないのではないかな。